

補助事業番号 23-4-039

補助事業名 平成23年度（復興支援）被災地域の記録、調査活動

補助事業者名 一般社団法人チーム王冠

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

津波の広域被害が生み出した「自宅避難者」。日本の災害史上、仮設住宅避難者に匹敵する「自宅避難者」方々への支援は未経験である。

「自宅避難者」への長期的かつ有効的な支援活動実施のため、生活実態・支援ニーズ等の調査を行い、定量的かつ定性的に支援ニーズを把握。ニーズに沿った支援活動を行うと同時に、「自宅避難者」の実態、支援ニーズを広く広報する。

(2) 事業の内容

- ① 石巻市及び周辺地区の甚大な津波被害地域での「自宅避難者」の最新存在・生活状況・支援ニーズを調査する。
- ② 上記調査と並行し、被災者への生活支援ボランティアを行う。



- ② 調査活動によって得られた情報の整理・分析・報告書作製。行政関係者・医療、教育関係者・支援団体・マスコミ関係者を対象とした報告会（セミナー形式）を開催。



2. 予想される事業実施効果

①「自宅避難者」約 2000 名の名簿のクリーニング・健康状態・支援ニーズに対する調査を行い、実態・ニーズ把握を行い、今後の支援の方針とする。

②報告会を開催し、「自宅避難者」の現状を報告、支援に対する提言を行う事で、大学、企業、他のボランティア団体より活動支援、活動協働の依頼があり、活動のスケールが広がった。

3. 本事業で作成した印刷物等

- ・ 報告書
- ・ 報告会の報告書



チーム王冠 在宅避難者支援者数(2012年3月末)

市町村	地区	GRP	世帯	人数
石巻市	渡波	55	760	2,471
	大街道	40	470	1,416
	湊	27	295	958
	北上	12	156	573
	河北・雄勝	20	199	491
	牡鹿半島	25	372	1,038
	その他	6	45	187
	個人宅	5	6	14
東松山市		12	106	373
女川町		18	134	368
山元町		11	79	251
亘理町		10	75	304
名取市		3	18	60
	合計	244	2,715	8,504



※石巻市の震災独自コミュニティと一部重なる部分あり

※一部移動難民、借り上げ仮設含む

在宅避難世帯を取り巻く環境変化(震災から1年経って)

<在宅避難世帯の問題>

- 在宅避難世帯は増加傾向(推定8000世帯)
- 最低限のライフラインはほぼ復旧
- 住宅修復スピードが鈍い
- コミュニティが行政から認知されない
(仮設で受けられる行政サポートが受けられない)



<被災地全体の問題>

- 雇用状況が改善しない(石巻全体も同様)
- 子供や高齢者を預る施設が激減
- 生活支援施策が終了(経済的不安が増大)

在宅避難世帯では、取り残された感が強く、精神的ストレスも重い。

在宅避難世帯に必要な支援

<在宅避難世帯の課題>

- 行政・生活支援などの情報を正確に伝える伝達支援(コミュニティ維持)
- 生活支援(生活保護対象外への物的支援)
- 住環境整備支援(大工不足や資金調達の問題に対応要)
- 孤立化防止支援(特に高齢者世帯の心のケアが重要)

<被災地全体の課題>

- 雇用環境の整備
(様々な分野での雇用創出、就業支援、子供の安全・育成環境、高齢者介護機能等)
- 被災者ニーズに対する行政や専門家による対応機会増(連携促進機能)

被災地域外による専門的・継続的な支援協力が不可欠。

※上記は、「報告書」抜粋

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：一般社団法人チーム王冠

住所：〒986-0815

宮城県石巻市中里7丁目6-2

代表者：代表理事 伊藤健哉

担当者：副代表 志村知穂

電話：090-3946-5282

E-mail: shimura.ohkan@gmail.com